

[2015年～現在]

取扱説明書

Vaihinger SANOMAT
Schlagsahne-Automaten

ドイツ ファイヒンガー社製
生クリームホイップマシン ザノマット
インダストリー・バコ



よく読んで安全に正しくお使いください。

- ご使用前に、この取扱説明書をお読みいただき安全に正しくお使いください。特に「安全上の注意」はご使用前に必ずお読みいただき安全にお使いください。
- 幼いお子様にはさわらせないでください。また、取扱説明書の内容が理解できない方の使用はお控えください。
- 取扱説明書は大切に保管してください。紛失した場合は、お買い上げいただいた販売店、またはルーツ貿易までご連絡ください。

2020/12 改定



総輸入元
ルーツ貿易株式会社
ROOTS TRADING CO., LTD.
Tel: 047-379-1505 (代表)

パーツ更新履歴

[2020.3] Oリング(ゴムパッキン)のカラー化

2020年3月以降出荷分より、Oリング(ゴムパッキン)が灰色から青色に徐々に変更されます。(機種や入荷時期により異なります) これはOリングが劣化した際に万が一異物としてクリームに混入した場合に発見・認識しやすくなるものです。素材、サイズの変更はございません。



[2020.3] 洗剤の変更

EUのレギュレーション No.528/2012(化学製品についての規定)により人体の健康や環境保護への規制が変更され、より影響の少ない洗剤に変更することになりました。今後はメーカー推奨洗剤を必ずご使用いただきますようお願いいたします。

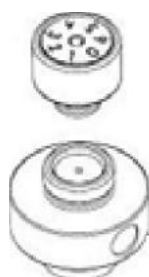
メーカー推奨洗剤「プロバイオクリーン N20ND」
(取り扱い:2kg 入りボトル)



[2019.4] 新型エアレギュレーションダイヤル

2019年3月までの機械では、右図のエアレギュレーションダイヤルが付属していましたが、2019年4月以降の機械につきましては左図の新型エアレギュレーションダイヤルが付属しております。より細かい調整が可能になりました。

旧エアレギュレーションダイヤル
ダイヤル上部に目盛シールが貼ってあります。



新エアレギュレーションダイヤル
ダイヤル側面に目盛が刻印されています。



重要事項

ザノマットをご使用いただくにあたり、常に最良のホイップクリームを得るために、以下の点を留意してください。

- 1) **生クリームは乳牛の食べる飼料の種類や量、また季節によって状態の変わる自然の原料です。これらの要素は、ホイップしたクリームの嵩や安定性に少なからず影響を与えます。**

安定した状態のホイップクリームを得るために、すべての工程で低温が維持されることは大変重要であり、わずかな間でもクリームの温度が上がってしまうとクリームの品質に影響を与え、場合によってはホイップが難しくなることもあります。

- 2) **細菌の侵入・繁殖を防ぐために、毎日の清掃は非常に重要です。だからこそ、ザノマットは誰が洗浄しても理想的な洗浄状態が得られるように設計されています。**

ザノマットは、クリームが通るパーツを細かく分解することができ、衛生状態を目で確認することができます。常に衛生的に使用できることで安心です。

- 3) **ザノマットを設置する環境、毎日の清掃状況などの条件によって、機械本体の寿命が変わってきます。**

洗浄の頻度や工程が不十分だった場合、ポンプやモーターの不具合の原因となり、修理が必要となることがあります。

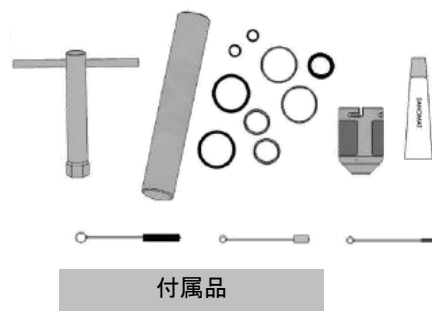
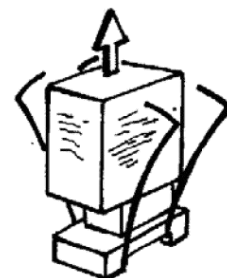
常に良い状態でザノマットをお使いいただけるように、取扱説明書を必ずお読みください。

目次

1) 開梱と内容物確認	5
2) ザノマットを安全にお使いいただくために	5
3) 使用前の準備	6
4) ホイップクリームの固さの調整	7
5) ホイップクリームの射出	8
6) 洗浄について	8
7) 毎日のクリーニング	9、10
8) 週1回のクリーニング	10
9) 分解洗浄	11、12
10) フロンガスの点検	13
11) 不具合があった場合の対処	13~15
12) パーツの寿命について	16
13) 廃棄について	16
14) 諸元	16
15) 分解図とパーツリスト	17、18
製品保証書	19
メンテナンス依頼書	20

1) 開梱と内容物確認

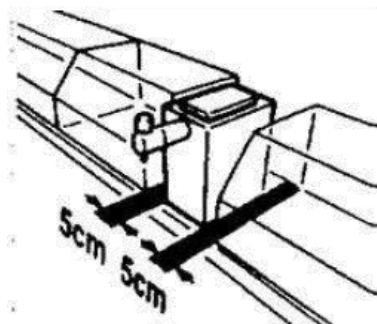
- ・ 輸送用のケースから本体を取り出し、輸送中にダメージがなかったか確認してください。もしこの時点で問題があれば輸送会社や購入先に連絡をしてください。
- ・ ケースの中に以下の付属品が入っていることを確認してください。
 - 取扱説明書
 - 工具
 - ソケットレンチ、押し出し棒
 - 洗浄ノズル、クリーニングブラシ(中、小、ミニ)
 - Oリング(ゴムパッキン)、食用ワセリン



日本国内で出荷された機械は、輸入元にて
試運転を済ませた状態でお届けしています。

2) ザノマットを安全にお使いいただくために

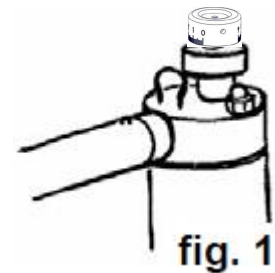
- ⚠ ザノマットはクリームホイップ以外の目的で使用しないでください。故障の原因となります。
- ⚠ 洗浄、修理には、メーカー推奨の洗浄液、専用の部品を使用してください。他の洗浄液、部品を使用することによる故障は、メーカーの保証対象外になります。
- ⚠ ザノマットの洗浄に高圧蒸気を使ったり、直接ホースで水をかけたりしないでください。電気系統などの故障の原因となります。
- ⚠ ザノマットの電源は、壁面のコンセントから直接繋いでください。アースは必ずつないでください。漏電の原因となります。
- ⚠ ザノマットは安定した平らなところに設置してください。
- ⚠ ザノマットは室温が40°C以下の場所でご使用ください。火器など高温になるものの近くでの使用は避けてください。本体の蓄熱を防ぐために、左右の壁などからそれぞれ5cm空けて設置してください。
- ⚠ 直射日光が当たる場所での使用は避けてください。
- ⚠ 洗浄は常に正しく行ってください。
- ⚠ 使用する前に毎日のクリーニングを行ってください。(詳しくは取扱説明書の9ページ、毎日のクリーニングの仕方をご覧ください。)



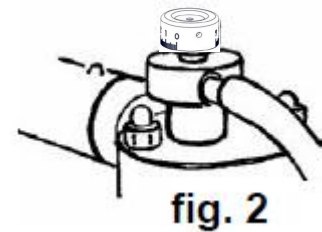
- ・ 200V 50/60Hz(日本国内用)のフューズは最低 10 アンペアを用意してください。

3) 使用前の準備

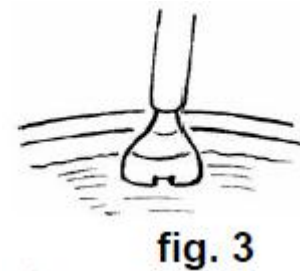
- 1) ホイッピングシステム(先端部分)を軽く回しながら、バルブヘッドに差し込み、 ロッキングデバイスで固定してください。ロッキングデバイスを一番奥まで、ホイッピングシステムを前後に回し動かしながら、差し込んでください。
(fig.1)



- 2) サクションホースをサクションノズルにはめ、エアレギュレーションダイヤルの穴に差し込んでください。(fig.2)



- 3) サクションホースをサクションバスケットに取り付け、冷やしたクリーム(+3°C~+5°C)を入れた外部コンテナに入れてください。(fig.3)



4) ホイップクリームの固さの調整

- 1) クリームに取り入れる空気の量(オーバーラン)は、使用するクリームの脂肪分の比率や希望するホイップの固さなどの要件によって調整することができます。

- 2) エアレギュレーションダイヤルを時計方向に回し、締め切った状態が”0”の位置になります。エアレギュレーションの横部に刻まれた刻印が”0”が同じ位置であることを確認してください。この状態では全く空気が入らないために、ポンプに過度の負担を与え故障の原因となります。使用する場合は、必ず”1”から”9”の数字に合わせた状態で作動させてください。数字が増えるごとに取り入れられる空気の量が増えていきます。必要以上の固さでホイップし、バター化が見られるような場合は、経路内で詰まっている可能性があるため、洗浄してから再使用するようしてください。(fig.4)



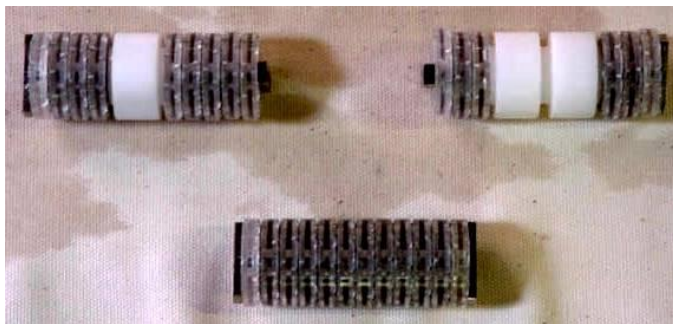


ポンプに負担をかけ過ぎないように、“3”以上で使用するをお勧めします。“1～2”で長期間使用すると、ポンプの耐久性が著しく低下し、交換までの期間が短くなります。また、全く空気を取り込まない状態“0”で使用することは避けてください。ポンプに重篤なダメージを与えることになり、故障の原因となります。

ザノマットは、35%の低脂肪から 45%を超える高脂肪のクリーム、またコンパウンドクリームまで、様々なクリームをホイップすることができます。

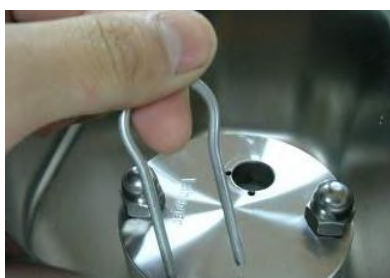
クリームの脂肪率に合わせて、ホイッピングパイプ内のディスクコラムの設定を変更することができます。

- ① **～38%** ディスク(透明)12枚、ステンレスプレート11枚、白ブロックなし
- ② **38%～42%** ディスク(透明)9枚、ステンレスプレート7枚、白ブロックを1個使用
- ③ **42%～** ディスク(透明)6枚、ステンレスプレート4枚、白ブロックを2個使用



ディスクコラムは両端がネジになっています。

<ディスクコラムの取り出し方>



① バルブヘッドのロックンゲデバイスを抜きます。



② ロックンゲデバイスを使い、ホイッピングパイプのロックンゲボルト(バネ式)を押し込み、ホイッピングパイプを回しながら両端部(2ヶ所)を外します。

5) ホイップクリームの射出

本体右側面のロッカースイッチを右に回してください。(右写真)
ロッカースイッチを“0”に戻すまでホイップクリームが出続けます。



! クリームが空の状態で長時間作動させ、ポンプにダメージがあった場合は保証対象外になる場合があります。

6) 洗浄について

! ザノマットを常に良い状態で使用いただくために、機械の洗浄は必ず行ってください。

洗浄の頻度、方法は、以下の表を参考にしてください。

いつ	清掃手順	対応ページ
毎日	① 消毒洗浄	9、10 ページ
30分以上停止後、再使用时	① 消毒洗浄	9、10 ページ
その日の終了時	① 消毒洗浄	9、10 ページ
週1回	② エアレギュレーションダイヤルの洗浄	10 ページ
数日電源を切る前	① 消毒洗浄 ② エアレギュレーションダイヤルの洗浄	9、10 ページ 10 ページ
数日電源を切った後、再使用	① 消毒洗浄	9、10 ページ
トラブル発生時	③ 分解洗浄とパーツチェック	11、12 ページ

! ザノマットを安全にお使いいただくために、必ず毎日指定の方法、推奨洗剤で洗浄をお願いいたします。その他の洗浄方法を行った場合は、機械の補償対象から外れます。

! 使用したまま放置すると細菌が繁殖し、質の低下や健康被害の原因となります。

! ザノマットの洗浄に高圧蒸気を使ったり、直接ホースで水をかけたりしないでください。電気系統などの故障の原因となります。

! **洗浄の際には、保護のためにゴム手袋を装着することをお勧めします。**

7) 毎日のクリーニング（消毒洗浄）

- ① ガーニッシングノズルの下に、5L 程度の容量の洗浄用のバケツを用意します。
- ② サクションホースを容器から取り出し、吸い込み口をペーパータオルなどで拭きます。その後、ガーニッシングノズルからクリームが出なくなるまでロッカースイッチを右に回します。
- ③ 外部容器に 40～50℃ のぬるま湯を 1.5L 注ぎ、ロッカースイッチを右に回す、戻すを交互に繰り返し、1.5L のぬるま湯を出し切ってください。（予備洗浄） 連続的にぬるま湯を通すよりも、断続的にぬるま湯を通す方が洗浄効果が高まります。

RA（自動洗浄ボタン）（fig.7a）付きの機種はボタンを押すことで洗浄がスタートします。洗浄は断続的に行われ、約 3 分間で自動的に停止します。

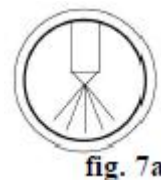



fig. 7a

- ④ ガーニッシングノズル（黒）を洗浄ノズル（白）に付け替えます。取り外したガーニッシングノズルは 40～50℃ の流水で洗浄してください。

 **洗浄ノズルでクリームを射出しないでください。つまりの原因となります。**

- ⑤ 外部容器に 40～50℃ のぬるま湯を 1.5L 注ぎ、洗浄消毒液を 30ml 投入します。（fig.8）

 **他の洗剤を投入したり、洗剤を混ぜて使ったりしないでください。**

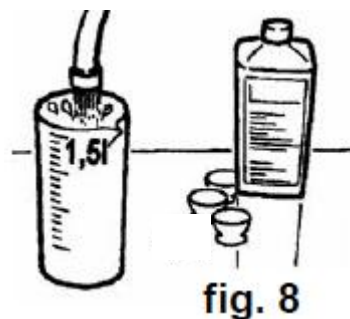


fig. 8

- ⑥ 予備洗浄同様に、ロッカースイッチを右に回す、戻すを交互に繰り返し、1.5L のぬるま湯を出し切ってください。（本洗浄） 連続的にぬるま湯を通すよりも、断続的にぬるま湯を通す方が洗浄効果が高まります。
- ⑦ 洗浄ノズルとサクションホースを外し、お湯で流してきれいにしてください。
- ⑧ 外部容器に水道水を 1.5L 注ぎ、ロッカースイッチを右に回す、戻すを交互に繰り返し、1.5L の水道水を出し切ってください。（すすぎ） 連続的に水を通すよりも、断続的に水を通す方が洗浄効果が高まります。
- ⑨ 洗浄ノズルとガーニッシングノズルを付け替え、本体を拭き取れば洗浄完了です。

メーカー推奨洗剤「プロバイオクリーン N20ND」
(取り扱い: 2kg 入りボトル)

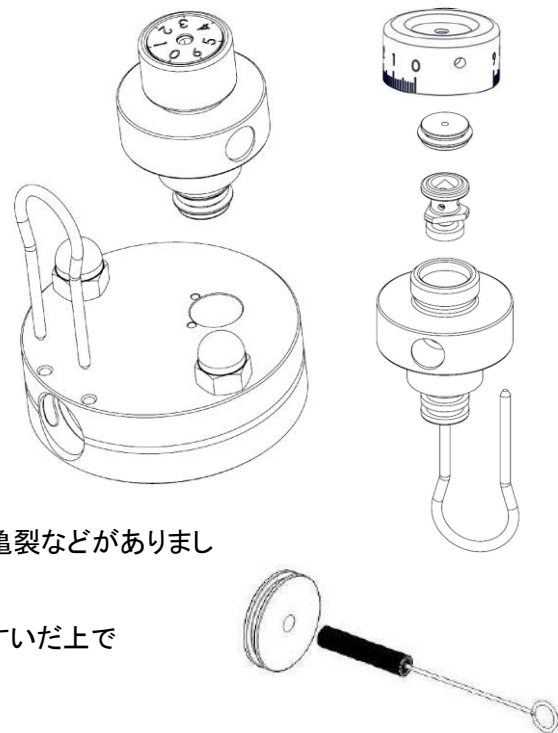
- ・ 50℃以下で使用した場合でも洗浄消毒効果を発揮します。
- ・ 洗浄と消毒が一度に行えます。


1 回の使用量が 30ml 以下の場合、正しく洗浄されない場合があります。この場合は、メーカーによる保証対象外となります。



8) 週 1 回のクリーニング

- ・ 毎日のクリーニングを最初に行ってください。
- ・ サクションホースを外し、エアレギュレーションバルブを上方に引き抜きます。またロックピンを上方に引き抜きます。
- ・ エアレギュレーションダイヤルを時計回りに最後まで回してエアレギュレーションバルブから外します。ロックピンを使ってエアレギュレーションバルブの下方向から押し、バルブ内のパーツを取り出します。
- ・ 固まったクリームが付着している場合は、付属のクリーニングブラシなどを使って洗浄してください。また、O リング(ゴムパッキン)に劣化や亀裂などがありましたら新しいものと交換してください。
- ・ 洗浄消毒液を投入した湯で各パーツを洗浄し、すすいだ上で元のように組み上げてください。



 **週 1 回の洗浄以外に、クリームが通常よりゆるめにホイップされる場合にも、エアレギュレーションダイヤルの内部を洗浄するのが効果的です。特に空気の量を調整する弁の部分に固まったクリームが付着すると、空気量の調整が困難になります。内部パーツを取り出すには、ロッキングデバイス(11051)を使うのが便利です。**

9) 分解洗浄

・トラブルが起きた場合は、分解洗浄をしてください。

! 分解洗浄する場合は、電源を切って行ってください。

① 週1回のクリーニングの手順でエアレギュレーションダイヤルを分解洗浄してください。

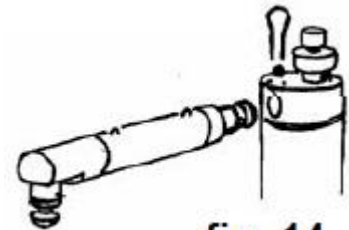


fig. 14

② ガーニッシングノズルとロックングデバイスを外し、ホイッピングシステム(先端部)をバルブヘッドから取り外してください。(fig.14)

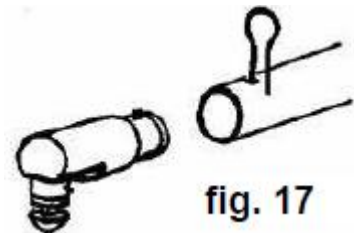


fig. 17

③ ロックングデバイスを使い、インレット及びアウトレットのロックングボルト(バネボタン)を押しながら回し、ホイッピングパイプを取り外してください。(fig.17、18)

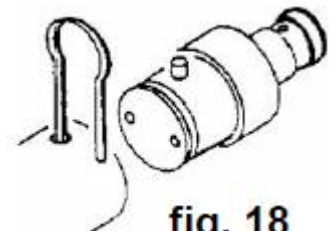


fig. 18

④ 押し出し棒をホイッピングパイプに押し込み、中のホイッピングディスク12枚と間に挟まっているプレート11枚(ホイッピングディスクコラムの中全部)を押し出してしてください。(fig.19)

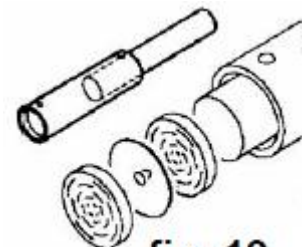


fig. 19

⑤ ソケットレンチで六角ナットをバルブヘッドから外し、バルブヘッドとステアリングディスクを持ち上げ、ポンプを引き抜いてください。(fig.20)

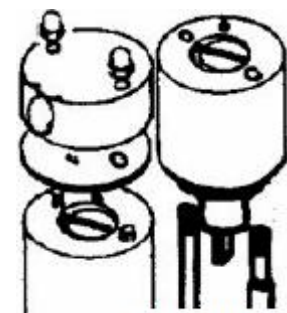
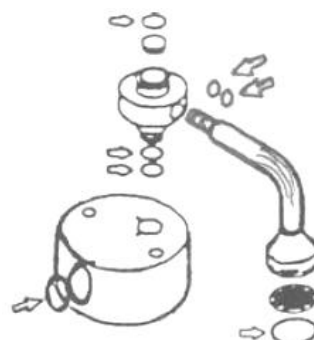


fig. 20

⑥ ザノマットには各部にOリング(ゴムパッキン)を使用しています。劣化している場合や紛失している場合は、すみやかに新しいOリングと交換してください。(下図)

⑦ 分解したパーツはボウルにお湯を入れ、洗浄消毒液を 2,3 滴入れて洗浄してください。

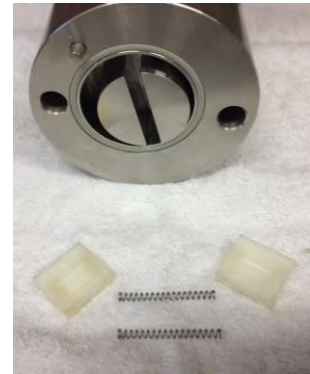


<分解>

- ・分解洗浄する場合は、電源を切って行ってください。

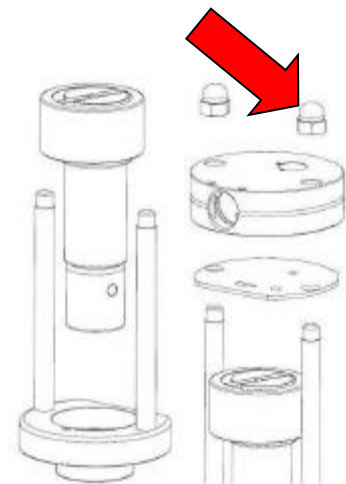
<洗浄>

- ・分解した全てのパーツの汚れを確認し、きれいに洗浄してください。
 (Oリング等)
- ・ポンプを洗浄する場合は、真ん中のくぼみより下のモーター接続部に水がかからないように注意してください。ポンプ内に封入してあるオイルが漏れる原因となります。ポンプを水につけたまま放置しないでください。クリームはポンプの上部までしか還流しません。
- ・ポンプ上部のパーツ(ベンスプリングキット)は取り外して洗うことができます。(右写真上)
- ・各部品に付いている汚れが落ちにくい場合は、洗浄消毒液をぬるま湯に入れ、クリームが通る経路をスポンジ、ブラシ等を使用し洗浄してください。(右写真下)
- ・パーツの水滴を拭き取る場合は乾燥した布、もしくはペーパータオル等を使用するようにしてください。



<組立て>

- ・組み立ては分解の逆の手順で行なってください。
- ・ポンプを戻すときは、ポンプ下部の回転軸がモーターの接続部にフィットするようにしてください。
- ・バルブヘッド上部 2 か所のボルト(矢印)を止めるときは、付属のスパナを使い、左右均等の力で締めるようにしてください。傾いていたり、強く締め過ぎていたりすると、ポンプとステアリングが強く接触して、ポンプに負担がかかります。また、ホイッピングディスクが削られ、良い状態でホイップできなくなります。(右写真)
- ・Oリングが正しく設置されているか確認しながら組み立ててください。Oリングの周りに付属のグリースを塗布すると、ゴムの柔軟性が増し、耐久性が上がります。
- ・組立てる際には、アルコール等の消毒液を使用しながら、組み立てるようにしてください。
- ・全てのパーツを組み終えたら、最後に経路内にアルコールを通す事でより衛生的に使用することができます。
- ・分解した状態でパーツを保管する場合には、部品同士が重なり合わないよう置き、水滴が付かない状態で置くようにしてください。くぼみ、穴があるパーツはその部分を必ず下向きにし、水滴が残らないようにしてください。最後にアルコールをかけ、布などをかぶせて保管するようにしてください。



10) フロンガスの点検

ザノマットには冷媒としてフロンガス(R134a)を使用しています。
 業務用機械につきましては使用者(第一種及び第二種特定製品の管理者)による定期的な点検が推奨されています。(フロン排出抑制法 第16条)

3か月に1度以上(推奨点検頻度)の目視による簡易点検と、点検記録の保管をお願いします。フロンガスの「漏えい」や機械の「異常」をより早期に発見するためには有効な手段です。安全や機械の維持が確保できない場合は、専門の業者(第一種及び第二種特定製品整備業者)に点検を依頼してください。

<点検・記録の例>

点検日	点検者	目視による外観点検	異音の感知	冷却のムラ
2020/00/00	〇〇	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

専門業者による点検、修理、冷媒の充填・回収等の履歴は記録し、廃棄後3年を経過するまで保存してください。(フロン排出抑制法 第16条)

点検により、フロンガスの漏えいが確認された場合、漏えい箇所の特定制と修理が必要です。フロンガスの漏えいを確認したままでの機械の使用は原則として禁止されています。
 ザノマットに使用されているフロンガス量は、法の定めた「フロン類算定漏えい量報告」には該当しません。(フロン排出抑制法 第19条)

11) 不具合があった場合の対処

①・・・ポンプがクリームを吸い上げずカラ回りしている。(ポンプ・モーターは動いている)

多くの場合はクリームが通る経路内に「空気たまり」が発生することによってカラ回り現象が発生します。
 この場合「エア抜き」の作業が必要となります。

ザノマットエア抜き方法 (写真使用機: ユーロ・クリーム 6L)

※各モデル共通で対応。

・分解洗浄組み付け後や、空回しをしてしまった場合、また長期間使用せず再使用をする際に『クリームが吸い上げない』場合に試してください。

<p>① 最初の状態</p>	<p>② エアレギュレーションを外します。</p>	<p>③ エアレギュレーション差し込み部をアルコールで満たします。</p>
		
<p>④ 指で押さえます。</p>	<p>⑤ 指で押さえながらハンドスイッチを2~3回カチカチと操作します。</p>	<p>⑥ ③~⑤を3回程度繰り返します。</p>
		

この作業を行うと④で押さえている指が吸われる力が強くなるはずですが。

<p>⑦ 吸い上げの力が確認出来たら最後にアルコールを満たす。</p>	<p>⑧ エアレギュレーションを復元する。</p>
	

これでエア抜きは完了です。

この一連の操作で吸い上げがされない場合は、ナットの締め具合の再確認、電磁弁の作動(一部モデル除く)を確認して下さい。

それでも改善されない場合は機械故障の可能性がありますのでご連絡下さい。

「空気たまり」が原因でない場合

- ・すぐにスイッチを切り、ポンプ操作を停止してください。
- ・コンテナが空の場合は、クリームを補充してください。
- ・クリームが通る経路に空気が残し、吸い込みを阻害している場合があります。その場合は、
 - ① ステアリングディスクの両面をアルコールなどで湿らせる。
 - ② サクションホースまたはオプションのシリコンホースの吸い口を上に向け、強制的に水またはアルコールを流し込み、誘引を行う。
 - ③ エアレギュレーションケースを引き抜き、引き抜いた穴に水やアルコールを吸わせ、誘引する。
- ・六角ナットが緩んでいるために、ポンプが空気を吸い上げ、クリームを吸わないことがあります。
このような場合は、ナットを一度に締め上げず 2~3 回に分けて交互に締めるようにして下さい。
- ・エアレギュレーションダイヤルを適正な数値に合わせてください。
- ・各種 Oリング(ゴムパッキン)が破損していないか確認し、破損している場合は交換してください。
- ・電磁弁部分を取り外し、洗浄してください。

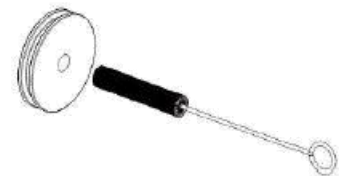


カラ回りを続けると、ポンプに負担が掛かり高温になる現象が起こります。この場合、ポンプの熱がプラスチックパーツに伝わり、変形や溶解の原因となります。(右写真)



②・・・ホイップしたクリームが満足いかず安定しない。

- ・クリームが凍っていたか、もしくは脂肪分が低すぎる可能性があります。
- ・コンテナにクリームを注いだ時点で温度が高すぎた可能性があります。
- ・エアレギュレーションダイヤルのノズルホール: 小穴(p.17 No.40187)にクリームが張り付いている可能性があります。右図のように付属のブラシで清掃してください。
- ・クリームの甘みが強すぎる可能性があります。
- ・クリームが一定にならず、沈殿している場合は時々コンテナの中をかき混ぜてみてください。



12) パーツの寿命について

ポンプ(X-PUM-006)は、使用環境によって耐用年数が変わりますが、消耗パーツとして交換が必要となります。

*ただし、交換時期は乳脂肪比率、連続使用状況、加糖、空気の含有量、清掃状況、分解・組立て時の状況などの様々な条件により耐用年数に大きな差が生じます。

*ポンプに過度の負荷がかかる状態で(7、8ページ参照)長期間使用すると、短い期間での交換が必要になる場合があります。

13) 廃棄について

機械本体を廃棄処分する場合は、一般ごみではなく、各行政区の法令に従って廃棄してください。

ザノマットはフロンガス(R134a)を使用しています。フロンガスを廃棄する場合は、資格を保有する専門の業者(第一種フロン類充填回収業者)に依頼し、廃棄を実施してください。

廃棄機械を業者に引き渡す際には、「引取証明書」の写しを作成し、機械と一緒に渡してください。

14) 諸元

モデル名:ザノマット インダストリー・バコ

寸法(W×D×H):.....26cm×39cm×49cm

重量:.....24kg

電源:.....230V/ 50Hz

消費電力(合計):.....575W

消費電力(ポンプモーター):.....575W

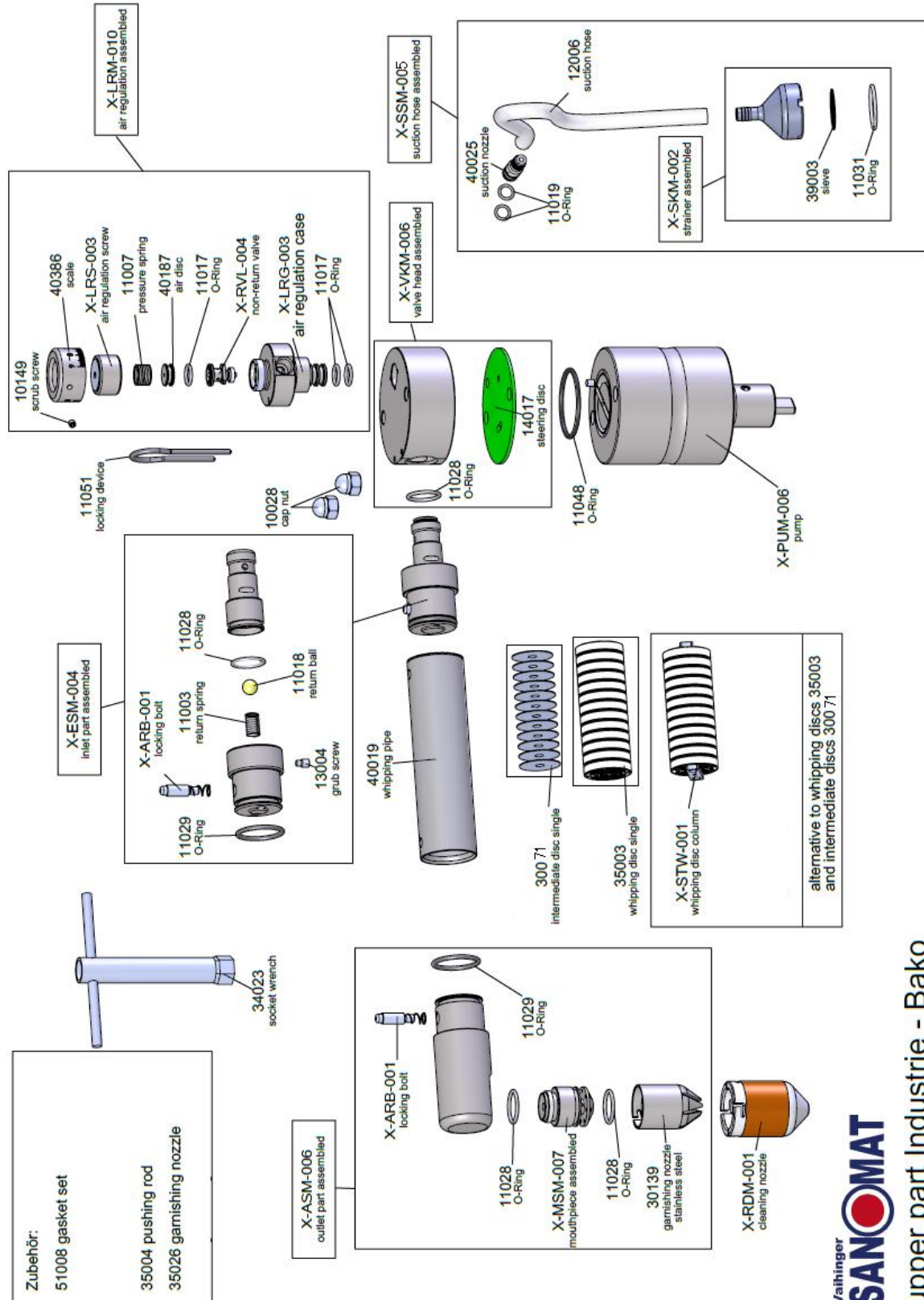
ヒューズ:.....min 10A

騒音レベル(使用する場所により変動有):.....70dB

電氣的保護レベル:.....IP×1

15) 本体・パーツ展開図

・パーツのご注文の際には機種名とパーツ番号でご注文ください。



Vaihinger
SANOMAT
upper part Industrie - Bako

番号	名称	番号	名称
X-ASM-006	先端部セット	40187	エアレギュレーションプレート 0.8mm
35026	ガーニッシングノズル	X-RVL-004	ノンリターンバルブ(2穴)
X-RDM-001	洗浄ノズル	X-LRG-003	サクシヨンケースエアレギュレーション
X-ESM-004	インレット一式	X-VKM-006	バルブヘッド
X-ARB-001	ロッキングボルト	10028	H ナット M8
40039	ホイッピングパイプ	14017	ステアリングディスク
35003	ホイッピングディスク(1枚)	X-PUM-006	ポンプ
30071	ステンレスプレート(1枚)	X-SKM-002	サクシヨンバスケット
X-STW-001	ホイッピングディスクコラム (35003×12枚、30071×11枚、ロッド)	39003	シーブ
		X-SOM-002	サクシヨンパイプセット
X-LRM-010	エアレギュレーション一式	35004	押し出し棒
40386	目盛スケール	34023	ソケットレンチ
X-LRS-003	エアレギュレーションダイヤル	51002	Oリングセット
11007	エアレギュレーション用スプリング		

製品保証書

本書は、お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合は、無料修理規定に基づき無料修理を行うことをお約束するものです。

保証書番号		
機種名		
製造番号		
お客様	ご住所(〒 -)	
	お名前	様
	電話() -	
お買い上げ年月日	年 月 日	
保証期間	本体お買い上げ日から2年間	
販売店	住所・店名	
	電話() -	



ルーツ貿易株式会社

ROOTS TRADING CO., LTD.

千葉県市川市新田4-13-8〒272-0035

Tel.047-379-1505 Fax.047-379-1506

- ・ 保証期間内において、通常の使用状況下で可動部分(例:ポンプ、モーターなど)に不具合や欠陥が認められた場合は、原因を検証し、交換部品の費用を売主が全額負担いたします。
- ・ ただし、「ザノマット専用洗浄殺菌消毒液」「メーカー推奨洗浄消毒液」を使用せずに問題が発生した場合は、都度原因を検証し、保証対象に当たるか精査します。
- ・ 消耗品(例:Oリング、ガーニッシングノズルなど)は保証期間内であっても保証対象外とさせていただきます。
- ・ 不当な修理及び改造、酷使、過失、手入れ不足、事故が原因となる故障については、保証の限りではありません。
- ・ 購入後、他者に贈与、転売する場合は、必ず取扱説明書及び付属品を付属してください。説明書を読まずに故障した場合は、保証対象外とさせていただきます。

ザノマット メンテナンス依頼書 (FAX 047-379-1506)

* 本紙をコピーしてお使いください。

依頼日		
店名・事業所名		
依頼者		
連絡先電話番号		<input type="checkbox"/> 電話連絡を希望
連絡先 FAX 番号		<input type="checkbox"/> FAX による回答を希望
使用機種	<input type="checkbox"/> インダストリー・パコ	
症状	<input type="checkbox"/> クリームを吸わない <input type="checkbox"/> 普段よりクリームが柔らかい <input type="checkbox"/> 普段よりクリームが固い <input type="checkbox"/> 機械の下から茶色い液体が出る <input type="checkbox"/> 音が気になる <input type="checkbox"/> 匂いが気になる <input type="checkbox"/> 漏電する <input type="checkbox"/> その他[]	
いつごろから症状が現れましたか？		
過去に同様の症状はありましたか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
症状の原因となるような事柄がありますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
原因として思い当たることがあればご記入ください		

<使用状況>

毎日の洗浄は「専用洗剤」を使っていますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
問い合わせ前に分解洗浄は行いましたか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
分解洗浄はどの部分まで行いましたか？	<input type="checkbox"/> エアレギュレーション内部 <input type="checkbox"/> ホイッピングディスク(攪拌部分) <input type="checkbox"/> ポンプ
機械洗浄担当者は決まっていますか？	<input type="checkbox"/> はい(人) <input type="checkbox"/> いいえ
どのようなクリームをご使用ですか？	

* お急ぎの場合はお電話にてお問合せください。
上記の内容に基づきヒアリングさせていただきます。
平日 9:00~17:00
時間外、土日祝日 留守電対応



ルーツ貿易株式会社
ROOTS TRADING CO., LTD.
千葉県市川市新田4-13-8 〒272-0035
Tel.047-379-1505 Fax.047-379-1506